



財団だより

<第 82 号>

特 別 号

一般財団法人 全国強制抑留者協会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勲業ビル2階
TEL 03-3261-6565 FAX 03-3261-6548

旧ソ連並びにモンゴル

抑留関係者の皆様へ

◆慰霊訪問（シベリア慰霊訪問）参加案内◆

一般財団法人 全国強制抑留者協会

会長 山田 秀三

令和六年度も引き続くロシアのウクライナ侵攻の現況に鑑みロシアへの慰霊訪問は中止し、カザフスタン共和国・ウズベキスタン共和国並びにモンゴル国三か国への慰霊訪問を実施します。

顧みますと、譬えようにない、あの酷寒・飢餓の地シベリアの荒野に不法にも拉致・抑留され、苛

令和六年度旧ソ連並びにモンゴル慰霊訪問（墓参）を次ページの要領で実施いたします。
（二財）全国強制抑留者協会では平成二年以降、毎年極東・シベリア・アルタイ・中央アジアなどの旧ソ連地域やモンゴルへの慰霊訪問を実施してまいりました。

しかしながら、コロナ感染症拡大の影響で令和二年、三年は全ての慰霊訪問を中止。
また、令和四年、五年はロシアによるウクライナ侵攻の為、ロシア地域への慰霊訪問を全て中止しました。

刻なノルマによる重労働を強いられながらも一途に故郷日本を想い、最愛の家族に会える日を夢見て 耐えに耐えた困窮の生活の中、遂に祖国の地を踏むことなく無念の死を遂げられ、今なお埋葬もされず荒野に放置された多くの戦友を思うとき万感胸に迫ってきます。

令和六年度も限られた地域ではありませんが、ご遺族や抑留関係者の皆様方と共に現地を訪れ、ご冥福をお祈りしたいと思えます。

伐採ピストリ(急げ)



奈良県大和高田市 吉田 勇氏 画

慰霊訪問(令和5年モンゴル班)



ダンバダルジャー(日本人死亡者慰霊碑前)

旧ソ連並びにモンゴル抑留関係者(シベリア抑留関係者)の皆様へ

主催 一般財団法人全国強制抑留者協会

後援 総務省大臣官房総務課管理室

主な訪問予定地

- ①モンゴル班(7日間)8月下旬予定 直行便
ウランバートル・ダンバダルジャー・ズーンハラ、ナライハ他
- ②カザフスタン班(9日間)8月下旬予定 ソウル(仁川)経由
アルマトゥイ・カラガンダ・アスタナ、オスケメン(旧ウスチカメノゴルスク)他
- ③ウズベキスタン班(8日間)9月下旬予定 直行便
タシケント・アンディジャン・フェルガナ・コーカンド他

参加ご希望の方は、希望訪問地、氏名、住所、電話番号メールアドレスを明記の上、葉書もしくはメールにてお申し込みください。参加案内書を送付いたします。

申込先 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
一般財団法人 全国強制抑留者協会
電話 03-3261-6565
e-mail:yoshida@zaidan-zenyokukyo.or.jp

実施概要

- 参加資格：ご参加は原則として、訪問希望地に抑留された関係者です。
ご家族、ご遺族の方も参加いただけます。
- 構成：訪問希望地毎に班を編成いたします。
【催行人員】6名以上の参加をもって実施いたします。
- 実施期間：令和6年8月下旬から9月下旬の間(予定)
- 申込締切：モンゴル班 : 令和6年7月5日(金曜日)
カザフスタン班 : 令和6年7月5日(金曜日)
ウズベキスタン班 : 令和6年8月6日(火曜日)

※ロシアの沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、ザバイカル地方、イルクーツク州、クラスノヤルスク地方、アルタイ地方などへの慰霊訪問は中止します。

※各国への慰霊訪問は現地の社会情勢等を考慮して、中止または日程等を変更する場合があります。



アルマトゥイ(カザフスタン)



在モンゴル日本大使館表敬(モンゴル)

令和六年度事業計画について

新型コロナウイルス感染症については、二類相当から五類となり、移動制限もなくなりましたが、完全に終息には至っておりません。令和六年度事業の実施に際しては、感染防止に引き続き務めていきながら、各支部との連携を密にし、各事業の効率的な事業実施を図る。

I 慰藉事業

1 シベリア抑留関係地方展示会

シベリア抑留体験者による絵画、手記、抑留関係のパネル、写真、抑留体験者持ち帰りの手製品、衣類等を展示し「戦後強制抑留」という史実の理解を深め、伝えていくことを目的として、各支部主催により「シベリア抑留関係展示会」を開催する。

【開催予定 三支部】

2 シベリア抑留の労苦を語り継ぐ集い

シベリア抑留という歴史的悲劇の体験が日本の戦後復興・繁栄と平和の礎となっていることを理解してもらえよう、各支部主催により抑留体験者がその労苦を次の世代に語り継ぐ集いを開催する。

【開催予定 七会場】

II 慰霊事業

1 シベリア抑留関係者慰霊祭（中央慰霊祭）

全国より抑留関係者（抑留体験者・ご遺族・戦友会等各関連団体他）のご参列により「シベリア抑留関係者慰霊祭」を東京で開催する。

【開催予定日 十月十六日（水）】

2 戦後強制抑留者地方慰霊祭

各支部主催により各地方建立の「シベリア抑留関係」慰霊碑等を中心に慰霊祭を開催する。

【開催予定 十五支部】

3 慰霊訪問（慰霊募参）

シベリア抑留体験者・ご遺族、戦友等抑留関係

者を対象に、慰霊訪問ご希望の地域毎に班を編成し、現地慰霊募参を実施する。

なお、シベリアについては、ロシアによるウクライナ侵攻やロシア全域に外務省から危険レベル三（渡航中止勧告）が発出されていることから、慰霊訪問を当面 見合わせることにする。

【本年度の訪問予定地及び実施時期】

○モンゴル班 実施時期 八月下旬

○カザフスタン班 実施時期 八月下旬

○ウズベキスタン班 実施時期 九月下旬

III 戦後強制抑留者に関する調査、相談、広報等

1 労苦の実態に関する調査を行うために、カザフスタン、ウズベキスタン、モンゴル在日大使館と接触し情報を収集する。また、ロシア情勢は関係者と連携し引き続き情報収集に努める。

2 (一財) 全国強制抑留者協会の広報紙を発行し、パンフレットを利用して協会の活動内容を幅広く周知する。

3 協会ホームページの更新を日常的に行うと共に、高齢化が進む会員及びご家族等にも閲覧を呼びかける。また、毎月のホームページの閲覧状況の解析を行い、解析結果は理事・監事・評議員並びに支部役員へ開示する。

4 展示会での展示物を、より抑留中の生活が分かるリアリティーのあるものにするため、創意工夫し展示物を作成する。そのための作成費用の予算化を行う。

5 一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会の社員として毎年行われている埋葬地調査や遺骨収集作業に、協会として団員を派遣する。

令和六年度 実施事業ならびに予定（四月～九月）

一. シベリア抑留関係地方展示会

埼玉県支部 七月十三日～十四日 埼玉県越谷市南越谷地区センター
石川県支部 八月九日～十一日 石川県金沢市文化ホール
新潟県支部 八月二十三日～二十五日 新潟県新潟市新潟市民プラザ

二. シベリア抑留の労苦を語り継ぐ集い

北海道支部 五月十八日 北海道札幌市かでの2・7
福岡県支部 六月二十九日 福岡県福岡市中央区草ヶ江公民館
埼玉県支部 七月十三日 埼玉県越谷市南越谷地区センター
石川県支部 八月十日 石川県金沢市文化ホール
新潟県支部 八月二十四日 新潟県新潟市新潟市民プラザギャラリー
愛媛県支部 九月二十九日 愛媛県松山市県民文化会館

三. 戦後強制抑留者慰霊祭（地方）

長野県支部	四月十一日	長野県伊那市春日公園慰霊碑前
三重県支部	四月二十一日	三重県津市久居陸軍墓地慰霊碑前
愛媛県支部	五月十一日	愛媛県松山市万葉植物苑慰霊碑前
愛知県支部	五月十九日	愛知県名古屋市中区栄華会館
岐阜県支部	六月一日	岐阜県土岐市仲森公園慰霊碑前
熊本県支部	八月九日	熊本県合志市農薬公園慰霊碑前
新潟県支部	八月九日	新潟県新潟市護国神社慰霊碑前
埼玉県支部	八月十六日	東京都千代田区千鳥ヶ淵募苑慰霊碑前
北海道支部	八月十七日	北海道札幌市真駒内滝野霊園慰霊碑前
岩手県支部	九月七日	岩手県盛岡市上田公民館
富山県支部	九月十一日	富山県高岡市信光寺慰霊碑前
石川県支部	九月二十八日	石川県金沢市本多の森公園慰霊碑前

私のシベリア抑留

ハバロフスクからの歌



歌手 光一 留されたシベ

昭和二十
年十月に抑
留されたシベ
リアのギヴタ
収容所では、

日本の歌謡曲がまだ自由に歌えました。「誰か故郷を思わざる」を歌うと泣きだす人が沢山いました。二十年二月、十九歳で関東軍に徴兵されるまで、私は満州の中央放送局合唱団に所属していました。合唱団にいたことが収容所に知れ、皆に頼まれて炭坑労働が終えた夕方、各宿舍を廻り、「愛染かつら」や「勘太郎月夜」を歌いました。

一年がたつとソ連の政治部から「もっと大きな収容所で専門に歌え」と命令され、ライチハ収容所に連れていかれました。そこには捕虜二十人ほどで「新星劇団」が結成されていて、芝居、吹奏楽、歌などなんでもやるんです。

ライチハ収容所に来てからは強制労働は免除され、朝から歌や劇の練習をさせられました。その点、強制されているとはいえ、好きなことで収容生活を送れたんで

すから、人よりは少しよかつたかも知れません。

ただ、赤化教育だけはいやでいやでたまりませんでした。「新星劇団」は二応文化工作隊であり、前衛任務があるからと、厳しく教育されました。

劇団員の中には赤化されたことをソ連に示そうとして、思想性が足りない仲間を攻撃するものがいました。僕は自分の心を偽って、共産主義が素晴らしいものであるかのようにアジ演説をするのがたまらなかつた。

ですからよく、劇団員のなかから吊るし上げられましたよ。ある日、ハバロフスク放送局から内地向けに歌を歌ったんです。この放送を日本の両親が聞いていて、大変喜んだそうです。その放送局内で、戦前ソ連に亡命した岡田嘉子さんにあったのが印象的でした。

著者略歴

◇生年月日 一九二六年二月十七日。

◇出身地 佐賀県唐津市

◇一九四五年十月～一九四九年十月、シベリア抑留

◇一九五〇年に歌手デビュー、「早く帰ってこ」、柿の木坂の家」などのヒットを連発し、一九五七年には「二代目船長さん」でNHK紅白歌合戦に初出場を果たされました。（「紅白歌合戦三回出場」現在、日本歌手協会名誉会長

寄付金募集に関してのお礼とご報告 … 令和6年3月31日

日頃より一般財団法人全国強制抑留者協会の活動に対しまして多大なご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の寄付金につきましては、本協会の貴重な財源として、慰籍事業ならびに慰霊事業に役立たせていただきます。

引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年度(4月1日～令和6年3月31日)

お振込み… 6件 77,000円 現金書留・現金…7件 123,000円

合計件数…13件 200,000円

寄付の方法

●銀行振込でのご送金

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店
普通預金口座 1055487

※振込口座が変更になりました。

●現金でのご送金

〒102-0073
東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勸業ビル2階

一般財団法人 全国強制抑留者協会